



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月8日

上場取引所 東名

上場会社名 ダイトウボウ株式会社

コード番号 3202 URL <http://www.daitobo.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山内 一裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営管理本部長 (氏名) 三枝 章吾

TEL 03-6262-6557

四半期報告書提出予定日 平成29年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	3,388	△18.3	325	△3.4	196	10.0	159	△25.9
28年3月期第3四半期	4,149	△8.1	336	—	178	—	215	—

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 78百万円 (△58.3%) 28年3月期第3四半期 188百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	5.33	5.33
28年3月期第3四半期	7.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	19,340	4,379	22.6
28年3月期	18,996	4,300	22.6

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 4,378百万円 28年3月期 4,300百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,700	△13.1	350	△7.6	180	140.7	140	12.2	4.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P. 「2. (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	30,000,000 株	28年3月期	30,000,000 株
29年3月期3Q	67,698 株	28年3月期	66,213 株
29年3月期3Q	29,933,208 株	28年3月期3Q	29,933,977 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に改善の遅れが見られるものの、日銀の金融緩和策や政府の経済対策の効果により雇用・所得環境の改善傾向が鮮明になるなど、引き続き緩やかな回復基調で推移しました。

事業環境につきましては、所得環境の改善傾向の影響や中高年向けヘルスケア市場の底堅い動きはあったものの、天候不順や猛暑・暖冬の影響から季節性の衣料・寝具関係を中心に苦戦するところがあり、総じて伸び悩む展開となりました。

こうした中で、当社グループは、新たに今年度から「中期経営計画 Bridge to the Future ～未来への架け橋～」をスタートさせ、「財務体質の強化」「プロパー事業の強固な基盤作り」「利益の底上げ」を最優先課題として取り組んでおります。

「財務体質の強化」では、平成28年度第1四半期において既存借入金の全額を長期のシンジケートローンによる借り換えで安定的な長期資金を確保するなど、中期経営計画で目標とする財務諸指標を着実に達成しつつあります。

「プロパー事業の強固な基盤作り」では、商業施設事業において、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」において、11月には中核テナントの一つである生鮮館のリニューアルを実施するなど適宜必要なリニューアル投資に取り組むとともに、各種イベントでのキッズ向け販促イベントを強化することなどにより、引き続き集客力の増強に取り組まれました。ヘルスケア事業において、Eコマース事業の取扱開始や、当社独自技術を活用したEウール、家庭用温熱電位治療器などのヘルスケア商品の営業力強化に取り組まれました。繊維・アパレル事業においては、構造改革によるスリム化の影響に加え、ユニフォーム関係で好調であった前年の反動減もあり苦戦しているものの、経費削減や採算性向上に引き続き努めました。

「利益の底上げ」では、前期に実施した「繊維・アパレル事業の構造改革」により売上高は前期比減少となるものの、損益面では採算性向上や経費削減の効果が出てきており、着実に利益の底上げを進めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、前期に実施した「繊維・アパレル事業の構造改革」による売上高の減少により、売上高は33億88百万円(前年同期比18.3%減)となりました。損益面では、粗利率の改善効果や販売管理費の削減効果などがあるものの、売上高の減少が響き、営業利益は3億25百万円(前年同期比3.4%減)となりました。一方、経常利益はシンジケートローン実行に伴う当初費用の負担増があったものの、金利負担が大幅に削減されたため1億96百万円(前年同期比10.0%増)となりました。また、シンジケートローン実行に係る借入金の中途解約損失などの特別損失や法人税等の負担を考慮した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億59百万円(前年同期比25.9%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(商業施設事業)

商業施設事業につきましては、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」において、ヒット作に恵まれた映画館に加え、テレビ・ラジオなど各種媒体を通じた広告宣伝活動やクリスマス商戦でのイベントなどに注力し集客確保に努めました。また、中核テナントの一つである生鮮館のリニューアルに取り組むなど適宜必要な設備投資も実施し競争力の維持向上に取り組んだ結果、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、商業施設事業の売上高は17億72百万円(前年同期比0.9%増)、減価償却費減少による粗利率改善効果もあり営業利益は7億53百万円(前年同期比9.4%増)となりました。

(ヘルスケア事業)

健康ビジネス部門につきましては、Eウール毛布シリーズが順調に売上を伸ばしたものの、その他の健康寝具関係での対前年の反動減が響き、前年同期を下回りました。一般寝装品部門につきましては、訪日需要に伴う業務用寝装品の受注を順調に獲得できたことから、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、ヘルスケア事業の売上高は6億39百万円(前年同期比4.4%減)、原材料費の高止まりによる粗利率の減少や販売管理費の増加が影響し、営業損失は22百万円(前年同期は営業損失4百万円)となりました。

(繊維・アパレル事業)

衣料部門につきましては、前期に実施した「繊維・アパレル事業の構造改革」に伴う売上高の減少や、暖冬の影響から秋冬物の売上が伸び悩んだことから、売上高は前年同期を下回りました。

ユニフォーム部門につきましては、前期大口受注のあった民需ユニフォームの反動減に加え、秋冬の官公庁関係の受

注落ち込みがあり、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、繊維・アパレル事業の売上高は9億76百万円(前年同期比43.3%減)、販売管理費の削減効果があるものの売上高の減少が響き、営業損失は7百万円(前年同期は営業利益0百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産等の状況)

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は193億40百万円(前期末は189億96百万円)となり、前期末に比べ3億44百万円増加(前期末比1.8%増)しました。主な要因は、現金及び預金の増加4億80百万円、有価証券の増加4億円、建物及び構築物の減少2億35百万円、投資その他の資産のその他(出資金)の減少1億60百万円であります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は149億61百万円(前期末は146億95百万円)となり、前期末に比べ2億65百万円増加(前期末比1.8%増)しました。主な要因は、短期借入金の減少28億30百万円、1年内償還予定の社債の減少1億69百万円、社債の減少6億96百万円、長期借入金の増加43億97百万円、長期預り保証金の減少4億47百万円であります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は43億79百万円(前期末は43億円)となり、前期末に比べ78百万円増加(前期末比1.8%増)しました。主な要因は、利益剰余金の増加1億54百万円、為替換算調整勘定の減少1億7百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年8月10日発表の予想数値に変更はありません。なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	777,476	1,257,566
受取手形及び売掛金	512,836	484,167
有価証券	—	400,000
たな卸資産	424,094	488,218
その他	141,807	49,297
貸倒引当金	—	△420
流動資産合計	1,856,216	2,678,830
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,488,744	6,253,732
土地	9,343,758	9,343,752
その他(純額)	228,419	200,108
有形固定資産合計	16,060,922	15,797,593
無形固定資産		
無形固定資産	12,995	10,406
投資その他の資産		
投資有価証券	833,411	766,705
破産更生債権等	101,243	91,422
その他	228,038	83,453
貸倒引当金	△96,583	△87,788
投資その他の資産合計	1,066,110	853,792
固定資産合計	17,140,028	16,661,792
資産合計	18,996,244	19,340,622

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	401,870	492,409
短期借入金	3,168,584	338,400
1年内償還予定の社債	169,000	—
未払法人税等	7,002	27,347
賞与引当金	31,677	16,574
その他	783,526	726,355
流動負債合計	4,561,660	1,601,087
固定負債		
社債	696,500	—
長期借入金	4,495,106	8,892,400
長期預り保証金	2,226,166	1,779,068
繰延税金負債	3,194	6,318
再評価に係る繰延税金負債	2,212,849	2,212,849
退職給付に係る負債	248,096	258,338
資産除去債務	44,132	52,702
その他	208,224	158,773
固定負債合計	10,134,269	13,360,451
負債合計	14,695,929	14,961,539
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500,000	1,500,000
資本剰余金	503,375	503,375
利益剰余金	△2,812,168	△2,657,426
自己株式	△7,033	△7,138
株主資本合計	△815,826	△661,189
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△23,462	2,541
繰延ヘッジ損益	△484	417
土地再評価差額金	4,990,956	4,995,749
為替換算調整勘定	149,131	41,408
その他の包括利益累計額合計	5,116,141	5,040,117
新株予約権	—	155
純資産合計	4,300,315	4,379,083
負債純資産合計	18,996,244	19,340,622

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	4,149,465	3,388,333
売上原価	3,111,076	2,412,973
売上総利益	1,038,389	975,359
販売費及び一般管理費	701,669	650,153
営業利益	336,720	325,206
営業外収益		
受取利息	121	44
受取配当金	4,331	4,586
持分法による投資利益	220	5,763
還付消費税等	—	48,324
投資有価証券売却益	32,694	—
出資金売却益	11,539	—
違約金収入	13,743	—
その他	4,384	2,275
営業外収益合計	67,034	60,995
営業外費用		
支払利息	188,343	95,012
シンジケートローン手数料	—	79,166
その他	37,041	15,879
営業外費用合計	225,385	190,058
経常利益	178,369	196,143
特別利益		
出資金売却益	—	109,743
事業譲渡益	64,814	—
特別利益合計	64,814	109,743
特別損失		
繰上返済精算金	—	107,257
特別損失合計	—	107,257
税金等調整前四半期純利益	243,184	198,629
法人税、住民税及び事業税	28,208	37,091
法人税等調整額	△333	2,002
法人税等合計	27,874	39,094
四半期純利益	215,309	159,535
親会社株主に帰属する四半期純利益	215,309	159,535

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	215,309	159,535
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,020	26,004
繰延ヘッジ損益	633	901
土地再評価差額金	2,890	—
為替換算調整勘定	△1,059	△8,127
持分法適用会社に対する持分相当額	△11,909	△99,595
その他の包括利益合計	△26,464	△80,817
四半期包括利益	188,844	78,717
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	188,844	78,717
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項なし。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項なし。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商業施設事業	ヘルスケア 事業	繊維・ アパレル事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,757,484	668,776	1,723,205	4,149,465	—	4,149,465
セグメント間の内部売上高 又は振替高	342	—	546	888	△888	—
計	1,757,826	668,776	1,723,752	4,150,354	△888	4,149,465
セグメント利益又は損失(△)	688,792	△4,615	3	684,180	△347,460	336,720

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△347,460千円は各報告セグメントに配分していない全社費用である。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第2四半期連結会計期間において、連結子会社である(株)ロックンガムペンを解散している。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、「繊維・アパレル事業」のセグメント資産が597,331千円減少している。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を従来の「不動産事業」から「商業施設事業」に変更している。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はない。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項なし。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商業施設事業	ヘルスケア 事業	繊維・ アパレル事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,772,513	639,220	976,599	3,388,333	—	3,388,333
セグメント間の内部売上高 又は振替高	342	—	85	427	△427	—
計	1,772,855	639,220	976,684	3,388,760	△427	3,388,333
セグメント利益又は損失(△)	753,368	△22,912	△7,706	722,749	△397,542	325,206

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△397,542千円は各報告セグメントに配分していない全社費用である。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項なし。